

# 常光寺

Temple  
寺庙



## ちとせ

おじゃまします！

Place to eat  
餐厅

### 金仏様がお出迎え

駅前通りの北へと歩くと、道端に突然現れる大仏が目印。この大仏の横を入っていくと奥に境内が広がっている。境内に入り向かって右手には大きな桜の木があり、春には美しく咲き誇る。境内は綺麗に手入れされ、かわいらしい六地藏などがあり、明るい雰囲気だ。入り口の大仏は「阿弥陀如来座像」で佐野・天命の鑄物師の傑作。「金仏さま」と呼ばれ昔から人々に親しまれてきた戦時中、武器の原料として利用されそうになったが、市民の努力により残された。また境内にある「石(せき)幢(とう)」は、六面の仏眼(灯籠の火袋にあたる部分)に地藏菩薩が刻まれている。境内の「阿弥陀如来座像」と共に市の文化財に指定されている。境内の雰囲気と金仏さまのエピソードに象徴されるように親しみやすい寺だ。



道行く人を見守る「金仏さま」



春には桜が満開に

0296 (33) 2243

住所 結城市大字結城400

# 本場結城紬郷土館

Silk  
丝绸

## 気軽に立ち寄ってみよう

駅から北に延びる大通りに面して赤レンガ造りの郷土館がある。布地の大きな看板が目印だ。建物の二階は展示室となっていて、紬製品や製作過程、道具などを見ることが出来る。二階には数台機械織り機があり実際に織っているところをみせてもらえる。部屋に響き渡る機械の音、織士の力強く、そして繊細な動きに圧倒されること間違いなし。予約をすれば、実際に地機織の体験もできる。帽子やハンカチなどの紬製品の販売もしている。



見学自由  
機織体験 1000円  
染織体験 3000円 ~  
予約必要

定休日 年末年始

営業時間 9時~17時

0296 (32) 2121

住所 結城市白浦町116



## コラム 紬の道

町を歩くと金仏さまの向かい、それから問屋街のわき道に亀甲模様の小道がある。亀甲の形は結城紬の打ち込みの形。目こらして紬をみるとよくわかる。亀甲の数が多ければ多いほど手間がかかり、それだけ高価な物になるそうだが、この道はまるで紬の反物を広げた様。私たちが紬の町へと案内してくれる。



問屋街のわき道



宇治金時

定休日 木曜 営業時間 10時半~19時

0296 (33) 2546

住所 結城市白銀町400

住宅が並ぶ通りにある小さな甘味屋さん。席に座っていると、台所からは店主のおじさんが朝ごはんでも作っているかのような音と匂いが。何だか誰かの家を訪れたかのような家庭的でどこか昔懐かしい雰囲気。メニューもあんみつやカキ氷・クリームソーダなど、昔から愛されているデザートがたっくさん。大きな宇治金時500円はおススメ。ちよつと疲れた時に立ち寄ってみては